

オプション行事のご案内

8月6日 最後の行事は、**宿舎→日光東照宮→ 足尾銅山 →朝鮮・中国人強制連行受難者慰霊碑 →星野富弘美術館 →JR 宇都宮駅とバスで移動し見学します。**

江戸の循環型社会の文化に触れながら、日本の近代化のなかで重要な役割を担った足尾銅山によって犠牲となった自然や韓国・中国の人々、そして鉱毒の犠牲となった日本の農民たちに思いを馳せながら、自然を愛し世界の人々と共に生きることの尊さを語ってくれる富弘美術館をめぐってきます。

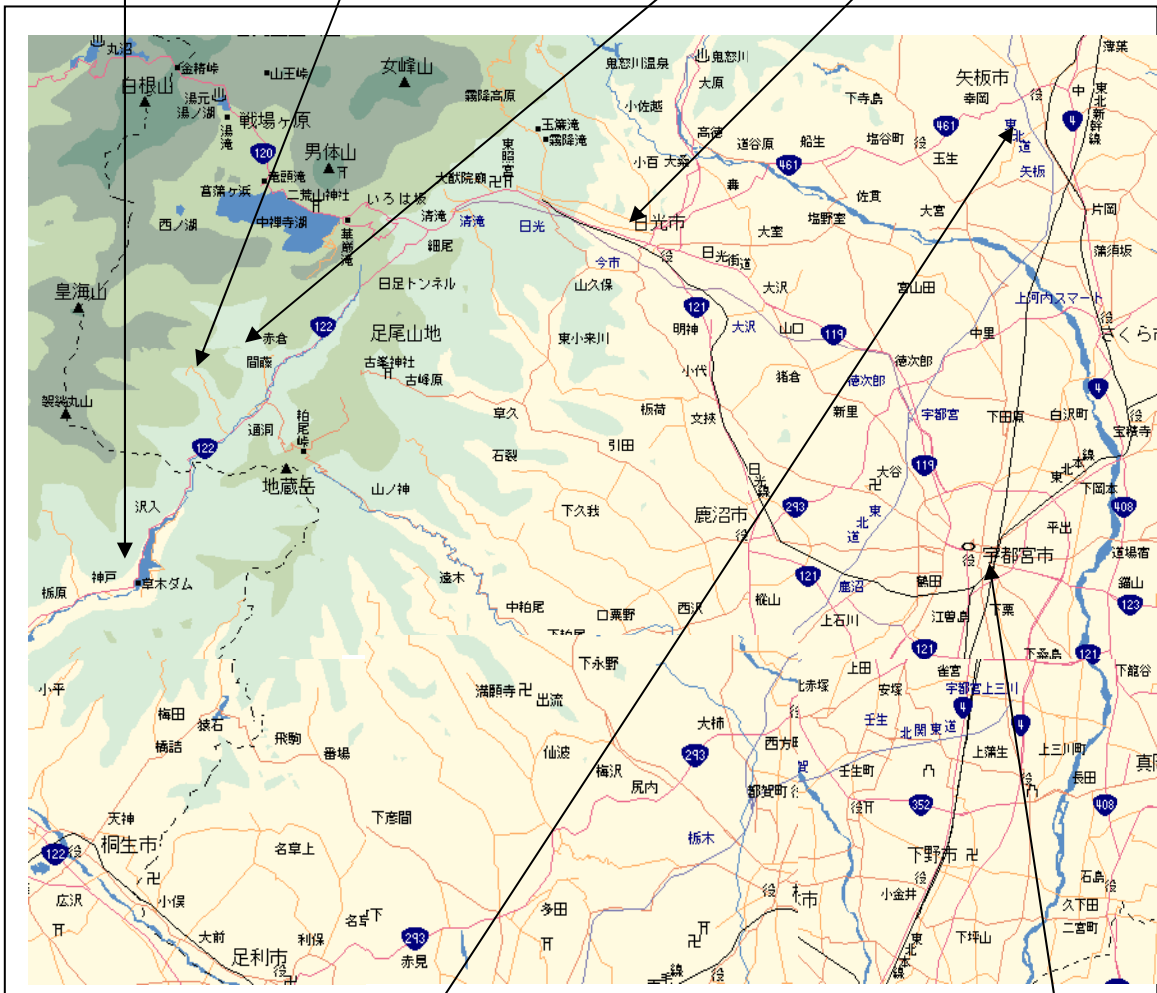
14:00~12:20 ← 12:00~12:00 ← 11:30~11:00 ←10:30~9:10←9:00 出発

星野富弘
美術館

朝鮮・中国強制連
行犠牲者慰霊碑

足尾銅山によ
る自然破壊の
現場 松木沢

8月5日 宿舎
(ナチュラルガーデン日光)
日光東照宮



第2回日韓生き物調査会場 杉山農場

国際会議会場 (ホテルフェアシティ)

日光東照宮

日光東照宮は、元和3年(1617)徳川家康公を奉祀し創建された神社。二代将軍秀忠により造営され、20年後の寛永13年(1636)三代将軍 家光により建て替えられ、今日の社殿群となった。現在の国指定文化財(国宝8、重文34)の建造物は、何れも江戸初期 寛永文化の優れた絵師、名工達、技術集団によって生み出された我が国を代表する宗教建築である。

平成11年(1999)には、人類のかけがえのない宝として、ユネスコの『世界遺産』に登録された。また、江戸300年は鎖国政策がとられ、循環型社会の典型として再評価されてきている。江戸中後期には各地の農民が独特の農業技術を生み出し、自然と共生する農法が全国的に開花した。



富弘美術館

群馬県勢多郡東村に水彩の詩画を通して生命の尊さ、やさしさを語りつづける星野さんの作品を一堂に公開する美術館があります。

1946年群馬県勢多郡東村に生まれ、70年群馬大学卒業後、中学校の教諭になるがクラブ活動の指導中頸椎を損傷、手足の自由を失ってしまいました。群馬大学病院入院中、口に筆をくわえて文や絵を書き始め、生きる勇気



や喜びを、なにげない毎日のなかから、自然に教えてくれています。1974年病室で基督教の洗礼を受ける。

足尾銅山中国・朝鮮人強制連行犠牲者追悼碑

日本の近代化の原動力となったと言われる足尾銅山には多くの朝鮮（73名）や中国（257名）の方々が、ある日突然連行され、炭鉱夫として過酷な労働に従事させられたという暗い歴史があります。

再び祖国の土を踏むことなく異郷の地で命を亡くされた方々の御霊がひっそりと小滝廃坑の周辺にあり、残酷な歴史を今に伝えていきます。日本人として決して忘れてはならない場所ですが、ほとんどの方がその存在すら知りません。第8回日韓中環境創造型稲作技術会議開催を機に慰霊碑を訪ねて頂き、不戦の誓いと交流の絆を深めて頂ければ幸いです。



国道293号 小滝廃坑の片隅にひっそりと祀られている朝鮮人強制連行犠牲者追悼碑



小滝廃坑を過ぎて 293号を進むと国民宿舎かじか荘があり、その手前右側の小高い丘に中国人殉難烈士慰霊塔がある。109名の御霊が祀られている。

